

## 令和元年度 事業報告

被保険者およびその家族を健康面から支えることを基本理念として策定した「平成30年度からの3か年事業運営方針」の2年目となる令和元年度は、次のとおり事業運営に取り組んだ。

### 1 保険料率の継続

的確な事業計画と予算編成に基づいた事業運営により、保険料率については、千分の70.0を維持した。

### 2 効率的・効果的な保健事業施策の展開

人間ドック・法定外予防接種等の経費補助施策を継続するとともに、各種施策の利用者増に向け、一層の勧奨・情報提供を実施した。

[令和元年度の保健事業施策におけるトピックス]

#### (1) 過去最高の人間ドック受診率達成

経費補助額の増額、本支部における積極的な勧奨（予約会の開催、未受診者へのDM発送）により、本人ドック、39歳以上の家族ドックともに過去最高の受診率を達成

#### (2) 特定保健指導の実施率改善

実施業者を1社から3社に増やし、PC・スマホやウェアラブル機器を活用した保健指導を開始した結果、低迷していた実施率が大幅に向上

### (3) データヘルス計画の推進

事業主との協働（コラボヘルス）による特定健康診査・特定保健指導の30歳台への拡大実施や生活習慣病罹患者への重症化予防・病院受診支援を継続

### (4) 直営保養所の運営

利用者が減少していた岩井保養所を令和2年3月末で廃止  
箱根保養所の外壁補修工事、空調設備更新を実施  
箱根・京都両保養所の全面禁煙化への準備

## 3 健康診断の実施

受託業務である定期健康診断、フォロー検診等の実施にあたっては、NHKの新規健康管理システムを活用し、的確かつ効率的に遂行した。（定期健康診断の受診率は100%を継続）

## 4 効率的な直営診療所の運営

社会環境の変化および費用対効果の観点を踏まえ、広島支部広島診療所、札幌支部札幌診療所における歯科診療を令和2年3月末で終了した。

## 5 個人情報保護・マイナンバー制度への対応

マイナンバー専用取扱い室の入室者管理、健康情報等に関する個人情報の管理を徹底するとともに、本支部職員を対象に個人情報保護に関する研修会を開催した。

## 6 保険者機能の強化

配偶者および22歳以上の子を対象に含めた被保険者証の検認（被扶養者の状況確認）、診療報酬明細書や柔道整復施術療養費支給申請書等の全件点検を継続し、保険給付の適正化に努めた。

## 7 内部統制の強化・適正経理の推進

本部においてNHKビジネスクリエイトの内部統制支援サービスを利用した内部監査を試行的に実施したほか、支部については本部担当者が実地で経理処理の点検を実施するなど、内部統制の強化および適正経理の推進に努めた。

## 8 広報の充実

健康情報や各種施策・財務状況等を、家庭向け広報誌「げんきッ！」やイントラネットホームページ、メールマガジンなど多様な媒体を活用して積極的に発信した。なお、新型コロナウイルス感染症の発生を受け、ホームページに感染拡大防止に向けた新コンテンツを開設し、関連情報をタイムリーに掲載した。

## 9 人材育成・働き方改革の推進

自己研鑽のための研修受講等に対する経費補助制度を継続するなど人材育成に努めるとともに、月次で働き方総点検日を設け、時間外労働時間、休暇取得状況の管理を徹底した。